



NO. 56

2002年 7月発行

2002年度東京ブランチ総会

2002年度東京ブランチ総会は、6月1日（土）午後1時から世田谷区、幡ヶ谷社会教育館で開催されました。総会の概要は、以下のとおりです。

（詳細は、会報19をご覧ください。）

1. 開会宣言及び総会の成立

議事に入る前に、出席人数及び会員の権利等について、報告及び運営委員会の方針が説明されました。

- ①6月1日現在の登録会員数 389名。出席者50名（開会時点で41名）。「総会の成立定数は、会員の1/4または25名の内、小なる方とする。」（Ⅶ-4）に基づき総会が成立したこと。
- ②会員は、誰でも総会に出席し、発言し、討議に参加し、議決に参加し、選挙する権利を有すること。
- ③葉書の回答数 280通中、出席47、委任状 231（有効 220＝今回は印またはサインがあるものを有効とした）、欠席 2（委任なし）で、委任状は通常の総会の慣例に倣い議決事項に従う意思表示（議決の賛成票には加えない）として取り扱うこと。
- ④役員及び委員に選ばれる権利（被選挙権）を有する人は、東京ブランチから本部登録している人に限定したいこと（今回だけの申し合わせとして運営委員会から提案。役員委員の改選の時に再度協議、承認される）。

続いて、チェアマン近藤幸子さんから開会の挨拶。チェアマンが議長となり、書記（大野悦子さん）を指名、次の議事が討議され承認されました。

2. 議 事

2001年度事業報告 セクレタリ……………吉澤敦子
2001年度決算報告 トレジャーラー……………鈴木百代
2001年度監査報告 前トレジャーラー……………大野悦子
2002年度事業計画 セクレタリ……………吉澤敦子
2002年度予算 トレジャーラー……………鈴木百代
役員改選
その他

3. 役員改選（次のとおり、新しい役員・委員が選出されました。※は継続）

チェアマン 鳥山豊喜
セクレタリ 鈴木百代※
トレジャーラー 境 雅子
委員(かいぎん) 池間悦子※、佐藤裕治、藤田淑子、松田正子、若松陽子

4. 伝達事項

- a) 篤子クレメントさんの報告に、今年からRepresentativeという形がなくなるとあったが、折に触れて助言がほしいとお願いした。
- b) 6月30日現在の会員数は、開会宣言で紹介したとおり、389名。
- c) 本部への寄付は、£ 850（167,000円）。CD費用と明記（CDに東京 brunch の名前が記載される予定）して送った。
- d) 本部が公募したダンス（Book-42の Summer School をテーマにした曲）に、鳥山豊喜さんの“Dancing in the Street”が選ばれた。（拍手）
- e) David Brandon氏の逝去（5月）に brunch から弔電を送った。
- f) 東京 brunch のホームページを開設した。

Home Page <http://www.ne.jp/asahi/tokyo/branch/>

mail adress E-mail: rscds-tokyo.branch@enjoy.email.ne.jp

旧役員を代表してチェアマン近藤幸子さんから「みなさまのご協力によりまして無事に任務を果たすことができました。ほんとうにありがとうございました。」とお礼の挨拶の後、新役員と席を入れ替わり、新役員の紹介及び新 brunch・チェアマンの挨拶が行われました。

新ランチ・チェアマン鳥山豊喜さんの挨拶と抱負

東京ランチ（以下「支部」といいます）規約第IV章第1項で、チェアマンは支部の執行役、つまり最高責任者であると述べており、支部の活動は良くも悪くもすべてチェアマンの責任、チェアマンに帰するというわけで、いまわたしはあらためて両肩にずしりとした重さを感じています。

前回の運営委員を離れて6年がたち、その間に海外の支部のボール、クラスに参加してきた経験から考えますと、東京支部に世界レベルに合っていない事柄があると感じられます。これを世界レベルに近づけたいと思っています。以下の所見（順不同）は私案であり、実行にあたっては委員会で十分に話し合い、合意の上で進めていきたいと思っています。（以下、要旨。詳細は、会報19をご覧ください。）

1. 支部財政を立て直す。
2. 長期的な行事計画を立案し実行する。
3. 支部運営に関する透明化・情報公開をはかる。
4. 支部運営に関する批判、意見をどしどしおっしゃっていただきたい。
5. 首都圏外在住会員に対するサービスを増やす。
6. 他支部との連絡発展を図る。
7. 支部クラスにおける講師・ミュージシャンの選定を役員会が行なう。
8. 委員任期は1年であることを確認する。
9. 役員定数の見直しを考える。
10. 会員が東京支部をどう思っているかなどについてアンケート調査をやってみたい。
11. 本部機構がどうなるか不明であるが、本部に対するRepresentativeはクレメント篤子さんにお願いする。
12. 支部ソーシャル・ダンシングにおいては、リカップのみを原則とする。
13. ティーチャーズ・ミーティングではなく、ティーチャーズ・クラスを年1、2回開催したい。
14. 支部クラスにおいては7割以上をRSCDSダンスとするよう、講師に要請する。
15. フォークダンス関係の団体が、RSCDSおよびSCD関係者の権利を侵害していないか（著作権の無許可使用がないか）に注意を向ける。

東海ランチの東京でのクラス開催について

G P C 議事録から (2002. 2. 2 GP02/4. 2)

「東京ランチと東海ランチについての議論は、今回をもって終了とする。MR. Mair は何か連絡があった場合は報告のみに留めることを希望した。」

3月に着いた Mr. Mairからの手紙(2.22付)は、ランチレター55号に掲載しました。この手紙に対してクレメント篤子さんのアドバイスも含めて、Mr. Mairに再考を依頼しましたが返事はきておりません。

2002. 5. 12 付

Mr. Alan Mair, Chairman 宛

2月22日付レターを受け取りました。私達は依然として、ランチクラスを含むランチの活動はランチ創設の時に決められたエリアの中で行われるべきだと考えます。

昨年7月に東海ランチが東京で開始して以来の東京のR S C D S会員の混乱

- 1) 東京に2つのランチがあると考えている人がいる。どちらのランチに属するかを決められない。
- 2) 東京で東海ランチがクラスをやっているとわかって、これは東海ランチのメンバーだけを対象にしているから、東京及び東京近在の東京ランチメンバーは参加できない。こういう人達は、東京ランチをやめて東海ランチへ移っていった。
- 3) 東京には東海ランチの会員が多いグループと東京ランチの会員が多いグループが、近くに多々あることから、前のように友好的ではなくなった。…中略…

私達は、S C Dは、友情、親密さ、礼儀正しさ、他者への配慮に基づいた社交的なダンスだと考えています。本部の了解があるということで、東京での東海ランチのクラスが続けば、これらの美しいマナーが失われてしまうでしょう。私達は、あなたがこの問題を考え直して、東海ランチに東京でのクラスを取りやめるようアドバイスして下さることを希望します。

再考を期待して。

チェアマン 近藤 幸子
セクレタリ 吉澤 敦子

《会員の方からご投稿をいただきました。》

東海ランチの東京でのクラス開催を憂う

東京ランチ 一会員より

02年3月発行の東京ランチレターNO55に、またまた「東海ランチ・ケース」が載っていた。地方で、熱心ダンサーともいえないがSCDを細く長く愛している私としては、このケースが人間的な、あまりにも人間的な問題になったような気がして、とても憂えている。

わたしは東京ランチに属しており、情報はレターを通して流れるので、どちらかというと東京ランチ寄りとなり、東海ランチの良識にイエローカードを送りたい気分である。また、東京ランチの主張が論理的であり、一貫しており説得力がある。

東京ランチの言い分を分かりやすく言うならば、

- 1) 多数の方が東京在住を承知で東海ランチの会員になったのだから、いまさら東京でクラスを開催したいというのはおかしい。
 - 2) なおかつ東海ランチが、東京ランチと友好的・協力的な関係を構築できないまま強行に、東京ランチのエリアでクラスを開催するのは容認出来ない。
 - 3) たとえ会員だけのクラスであっても、それは公式行事であるし、その行事を伝えるランチレターも宣伝であることは変わらないのでこれを静観することは出来ない。
- ということでしょう。

そこで、わたしは東海ランチがエリアを守って、紳士的に（淑女的に？）自らのランチの運営にあたるのが、最終的解決ではないかと思ってきた。

しかし、まてよ、東京ランチだけを正義とする考えは、SCDをひたすら愛し、楽しみ、伝えていくという精神にとって、消化できない異物を飲み込んだような違和感がある。もう少し柔軟な考え方をして、互いの異なる意見から新しい考え方・運営方法を生み出すことは出来ないものだろうか。

問題を長期化させている一因が、本部が調停的役割を十分に発揮していないことにある。みんな楽しみでやっている「たかがダンス」であることは承知している。しかし、人間が集まると「されどダンス」のライフワークとなり、場合によってはトラブルも発生してくる。そのトラブルに対して、上部組織は時として積極的に介入して和解、または独自の解決策を創造しなければならない。第三者的であったり、教条的であったり、玉虫色の意見であったなら、さらに混迷を深めることになる。適時にかつ繰り返し両者をテーブルに着かせる試みも欠かせない。建前を繰り返すだけでは納得いかない。

- 1) に関して、ダンスの楽しみは、いろんな人と、いろんな場所で踊ることである。だ

から、ノーではなく、どうすればイエスなのか話し合っしてほしい。東海ランチの方々と一緒にクラスを受講したいという東京ランチの会員も多いのではないかな。どのような正義もかたくなな独りよがりや、会員の心を傷つけることでは許されない。

2) の問題が実はこのケースの核心部分ではないか。友好的・協力的関係でないことは双方の問題である。東京ランチは大人であり、東海ランチはまだキャリアの浅い少年と考えてはどうだろう。心を大きくしてもっと大人の対応をしてほしい。強行と不寛容の対立は会員の望むことではない。東海ランチとのジョイントを含めて、多様なクラスのあり方を会員に提供してほしい。

3) この主張は、もし官公庁の通達であったならもっともと思うが、このようなNPO・NGO的組織においては頭と心を柔らかくして、もっと相手と話し合いを持って、妥協点を探るべきではないかと思う。あなたの主張は正しいです、しかし同意しかねます、ということになりかねない。

トラブルがあることは問題ではない、トラブルを解決できないことが問題である。東京ランチの人材の豊富さは、世界的なレベルである。ノープレス・オブリージュという考え方をしてはどうだろう。こよなく東京ランチを愛し信頼している者として、立場にふさわしい対応を望む。

東京、東海、埼玉3ランチ合同ミーティング

東京、東海、埼玉3ランチ合同ミーティングは、3月30日と5月12日に行われました。このミーティングは、2003年に日本で行われる予定の Examinationを成功させるための準備が中心議題です。3月30日、最初に、東海ランチの東京におけるクラス開催について、東京ランチは従来からの考え方（ランチレター55を含む）及び前記 Mr. Alan Mair宛の内容を含めて抗議するとともに、本部には今後とも考え直してくれるように働き続けると話しました。東海ランチは、本部から了承されたと理解して東京ランチに連絡しないままクラスを開催した。東海ランチは東京在住の会員が多い。ランチクラスは本部でいうプライベートな行事と考えている。このように大きな問題になるとは思ってもみなかった。と考え方を述べました。連絡の不十分により対立せざるを得ない状況が続いたことについては相互に認めました。

続いて、2003年春に日本で行われる予定の Examinationについて、3ランチが協力することを確認し、早急に本部と Examinationにかかる日程を調整することになりました。

5月12日(土)午後6時から行われた3ブランチ合同ミーティングでは、2003年春に予定されている教師資格試験(フルサティフィケート)及び教師資格予備試験(プレリミナリー)の具体的な日程案について協議を行いました。この結果を踏まえて、2003年4/26～5/12を希望するメールを6月初めに本部のExam.Com.へ送りました。

なお、次回の3ブランチの合同ミーティングは、7月13日に行う予定です。

東京ブランチから本部へ経費削減の提言をした結果について

RSCDSの運営組織と会員制度の改革案(ブランチレターNO.52で紹介)に関連して、東京ブランチから本部に次の5項目(ブランチレターNO.53)の経費削減を提言しましたが、その結果の概要は次のとおりです。(※1)以外はGP02/4.3)

- 1) 会費は毎年又は2年毎に少しずつ値上げしていく。(現行8ポンド=当時、10ポンド、12ポンドというように)
 - ⇨その後、2001年度AGMでLeicester Branchと東京ブランチの共同提案により、2002年度は10ポンドに決定した。(次年度については未定。2002年度分は送金済み。)
- 2) ほしい情報量が人によって異なるので、会費を段階的に変える。すべての資料を(A会員とB会員を設けるなら)全員に送る必要はない。
 - ⇨GPCでは、Bulletin、Newsbrief等を受け取る人と受け取らない人がいるのは不公平であると考えた。本部からは直接登録の会員以外の個人の会員には何も送られていないことが指摘された。
- 3) 資料配付(Bulletin、Bookなど)はブランチが行ない、配付費用はブランチで負担する。
 - ⇨改正案には、本部から会員に直接送付するとなっていたが、現行通りブランチに送られてきている。
- 4) Examiner派遣時の航空運賃は主催ブランチが負担する。
 - ⇨Examinerの一人はUK居住者としておくのはよくないと考えられた。ニュージーランド・ブランチからは、「Examinerを本部から3年毎に派遣されることをやめ、自分達で2年毎に試験を実施したい。派遣する費用を本部職員のブランチ訪問に使えばよい」という意見が届いている。(GP02/4.1)
- 5) 資格所有者の資格更新料(登録料)を本部に納める。
 - ⇨Teachers登録料は本部がTeachersについての登録が十分に把握するまでは実行に移せない。現在これを完成させるための作業が始まっている。

Mrs. Linda Gaul 海外旅行についての報告

Mrs. Linda Gaul (2月のランチ合宿の講師の一人)は、日本とカナダの旅行についてレポートをGPCに提出し、4月6日のGPCでそれが読み上げられました。(Mr. Mairは、トロント訪問について報告しました。)

フランスと日本のダンスの取組み方の違い

—日本でのグランバル奮闘記—

春日寛司 (在フランス)

先般、日本滞在中に皆様からご案内頂いた舞踏会に参加させていただき、大変良き経験となりました、と同時にフランスのグランバル(大舞踏会)と随分違うので踊られる国によって雰囲気がいかに違うものと驚きました。

まず、にこやかに踊っておられるのは指導者たる先生方だけ、一般の人達は怖いくらいに真面目な顔をされて踊っている、フランスでヘラヘラしながら踊っている私共は大変緊張しました。初めてパートナーをして頂いたご婦人にニイーとすると大変気味悪がられるか無視される。私のようにニタニタしながら迷子になっているやからは、日本ではうすらバカの範疇に入る。確かに男性が意味もなくニヤニヤしながら近づいてくれば、ご婦人は何か下心でもあるのかしらと警戒する。じ〜とにらめっこの様に見つめると目をそらされてしまう。皆さんものすごく真面目に一生懸命ダンスを踊っている。

フランスでは、ダンスは自分のストレス解消、リラックスのための楽しみ、日本ではいわゆる一種のお稽古ごと、したがって段階的に上手にならないといけない、学びごと、お勉強の一部、ではないかと思う。日本ではダンスを単に楽しく踊ればよいという人はいないのではないか、いつも何かを習得しようと、とても真剣に取り組んでいる。日本人の古来からの精神、性格から言って、何ごとにも真面目に取り組むのは良い事ではないかと考える。頭でカウントしながら、正しいステップでパートナーにも気を使いながら、全体のバランスを考えて踊ろうとすれば、普通の人には笑顔を作っている余裕はない。

フランスでは、にこやかに近づいて来る男性は、大抵下心がある、そんな事は百も承知でご婦人は対応する、おおらかな遊び心がある。じ〜と見つめられると、この人は私に気があるんじゃないかしらと愉快に思う。男性たるものご婦人をくどかないようではこけんにかかわる。日本では全く逆でこんな失礼な事をしたら以後つまはじきされる。

性格上、フランスと日本の一番の違いは、フランスでは謙遜するとかへりくだるような習慣は殆どない事。上手な人にお上手ですねと言うと、日本ではとんでもない、まだ駆け

出しですなんておっしゃる。フランスでは、はいはい上手ですともと言う。インターミディエイトの端くれ位でも、自分はアドバンスくらいに思っている。したがって、スクールの登録の時など、主催者側がしっかり自分の実力を考えて正しいクラスに入りなさいと言うと、フランス人はよく考えると自分はまだ上級のクラスが相応しい、日本人は熟慮して実力より一つ下のクラスに入ってしまう。日本人がもう少しリラックスしてダンスを楽しめるように、又フランス人がもう少し真面目にダンスに取り組んで夫々が良い面で近づくには、もう少し時間がかかるような気がします。今回の日本滞在で長年つちかわれてきた文化の違いをつくづく考えさせられました。 以上

日本における

教師資格試験（フルサティフィケート）及び教師資格予備試験（プレリミナリー）

— 2003. 4. 26～5. 12（予定） —

3 ブランチ合同ミーティング（P6）参照

本部への寄付（£850）

本部 Secretary Elspeth Grayから、丁寧な礼状が届きました。CDに東京ブランチの名前が記載される予定で、曲目については改めて選択することになります。

ブランチクラスのお知らせについて

ブランチクラス（アドヴァンス、インターミディエート、ビギナーズ）のお知らせは、原則として東京ブランチのエリア（東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬）とエリア外のSCDグループ代表者の方々にお送りしています。

次の方でブランチクラスのお知らせを希望する場合はセクレタリまでご連絡ください。ただし、昨年送付を希望された方には、そのままお送りいたします。

- ①東京ブランチの会員であって埼玉ブランチから本部登録（埼玉はエリア外になっていますので）をしている方
- ②地方の会員の方

Book 42 Dances 講習会

<RSCDS 東京ランチ>

東京北会場 (赤羽 SCDC のご好意による)

9月1日(日) 10時 - 16時 (昼食は各自ご用意ください)

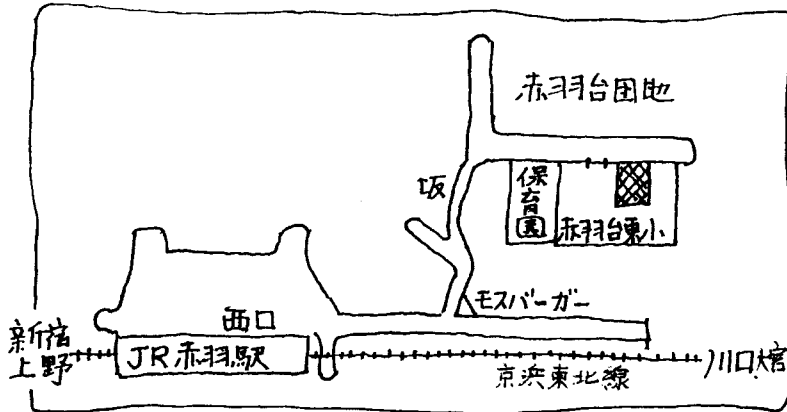
赤羽台東小学校体育館 (JR赤羽駅西口下車5分)

会費 1,000円 (RSCDS非会員は1,200円)

講師 田村妙子・松橋順子

ピアニスト 市川洋子・嵯峨紀枝・村上美枝子

お問い合わせは 境 雅子 Tel/Fax 047-368-3873 まで



東京南会場 (麻生SDCのご好意による)

9月21日(土) 10時 - 16時 (昼食は各自ご用意ください)

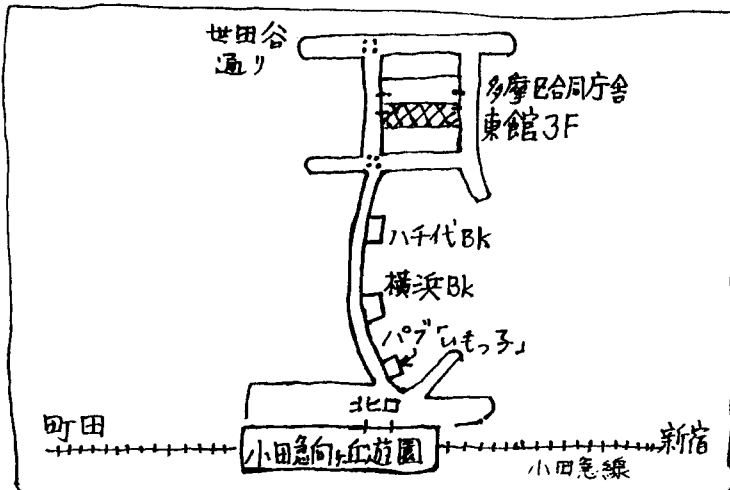
川崎市多摩市民館 (小田急線向ヶ丘遊園駅北口4分)

会費 1,000円 (RSCDS非会員は1,200円)

講師 鳥山豊喜

録音音楽を使います

お問い合わせは 藤田 淑子 Tel/Fax 044-954-7235 まで



告知板

YAMATOサマーボール2002

主催：大和スコティッシュカントリーダンスクラブ

日時：平成14年7月28日（日）11時～16時

会場：茅ヶ崎コミュニティホール（茅ヶ崎市役所分庁舎6F）

会費：¥5,000（申込み時にお願いします）

郵便振替：00290-9-47034 梶野幸雄

申込後参加取を取り消されても会費はお返し出来ません。

お車でのご参加はご遠慮下さい。

ボール終了後打ち上げを予定しております。（会費3500円程度）

※ 申し込み締切りは7月13日ですが定員になり次第締切りますのでお早目にお申し込みください。

問合せ先：0466-44-3537 事務局 梶野マデ

湘南スコティッシュダンスクラブ

10周年記念パーティ

日時：2002年9月16日（日）11時～16時

会場：茅ヶ崎コミュニティホール（茅ヶ崎市役所分庁舎6F）

茅ヶ崎駅北口より徒歩8分（お車でのご来場はご遠慮下さい）

会費：¥3,000（軽食付）

会費は申込時にお願いします。

郵便振替の方は、下記口座をお願いします。

振替口座00200-8-26543 梶野義枝

申込：8月20日（火）まで

申込後に参加取消しの場合、会費はお返しできません。

予定曲：REEL: FLOWERS OF EDINBURGH, CLUTHE, REEL OF THE ROYAL SCOTS

JIG: COMING THROUGH THE RYE, ST. ANDREW'S FAIR, PELORUS JACK

STRATHSPEY: MARY HAMILTON, CUIILLINS OF SKYE, MISS GIBSON'S STRATHSPEY ほか

問合せ先：0466-82-0212 飯泉 経子

0466-44-3537 梶野 義枝

AUNTIES S. C. D. PARTY

日時：2002年10月2日(水)

11:30~3:00 Party

ピアニスト：小海 弘子

3:00~4:00 散策、入浴

4:00~6:00 交流会

会場：新潟県川口町 交流体育館

会費：Party 1,000円

交流会 1,000円

※入浴料金 別途 ※希望の方は、宿泊可能です。

予定曲：STRATHSPEY: AULD LANG SYNE, MISS GIBSON'S STRATHSPEY, THE DEAN BRIDGE OF EDINBURGH, SCOTCH MIST, FROM SCOTIA'S SHORES WE'RE NOON AWA', CULLA BAY, BRAERS OF ATHOLL JIG: HAPPY MEETING, PELORUS JACK, FOLLOW ME HOME, THE EXPRESS, MEJOR IAN STEWART REEL: THE SUMMER ASSEMBLY, FLOWERS OF EDINBURGH, MAIRI'S WEDDING, DOMINO FIVE, THE LADIES OF DUNSE, THE REEL OF THE ROYAL SCOTS, DANCING IN THE STREET ほか

(多少の変更がありかも知れません。ご了承ください。)

その他：プログラム等、ご案内は、後日、各サークル宛お届けします。

問合せ先：0258-28-0241 岡 玲子

RSCDS東京ランチレター

No. 56

2002. 7. 10

RSCDS東京ランチ

セクレタリ 鈴木 百代

350-0313埼玉県比企郡鳩山町松ヶ丘1-3-7

TEL & FAX : 049-296-1766

E-mail : momo-gon@mbj.nifty.com

東京ランチHome Page

<http://www.ne.jp/asahi/tokyo/branch/>